



ふくらの森クリーン隊大活躍
『地域の皆さんと
ともにゴミ拾い』



広報

こほりかい

秋号

○発行／湖北会 広報室(法人本部)

○発行者／北野 憲一

○住所／滋賀県長浜市富田町431番地5

○発行日／平成29年10月20日



滋賀県発達障害者支援センターによる 発達障害の基礎研修の実施



今年度初めて、法人全体の支援に関する課題解決を図っていくことを目的としたコンサルテーションを法人研修として実施することになりました。コンサルテーションは、これまで毎年、事業所単位で受けていましたが、各事業所で職員の参加にばらつきがあり、せっかく色々と事業所で取り組んでいるのにもつたいないといった反省と、おそらく発達障害の研修を受ける機会が少なく、基礎理解ができていないのでコンサルテーションに参加しても分からないという現状にありました。それならたくさんの人に基礎研修を受けていただける場をとということで、今回のコンサルテーション実施の運びになりました。これまで3回実施し、終業後にもかかわらず、参加者も毎回平均約80名と多くの職員が参加しました。

研修実施には、入所施設やGH、支援センター等勤務時間の都合が、なかなか取れない事業所職員の参加問題など課題はたくさんありますが、湖北会にとって意義ある第一歩を記すことができました。今後は、さらに焦点を絞った実例を通しての研修を行っていければと考えています。

ワークス さかた

フォークリフト講習について

7月1日学科・8月5日実技とフォークリフト講習をおこないました。

フォークリフトが配備されている湖北会各事業所から7名の参加があり、車の運転とは操作が異なるため、苦労しながらも操作を覚えておられました。

これから、冬場に向けてフォークリフトで除雪されることもあるかと思えます。まずは、安全第一で取り組んでいきます。



いぶきやま

山東民生児童委員の皆様の 温かいご支援！

7月14日(金)に、米原市山東民生児童委員協議会障害部会様の研修事業の一環で、各種花の苗を提供いただき、いぶきやまが用意したプランターに移植していただきました。利用者の方も共に作業に従事して、和やかに交流できたことは、とてもよかったと思います。また、暑い中一部の部会員様には、施設周辺の面倒な草刈りにもご奉仕いただき、たいへんお世話になりました。これからも、地域とをつなぐ交流を通じて、しょうがい者理解が地域に広がることを希望します。今後ともよろしくお願ひします。



「湖北のオール・ブリュット展2017」

- 期 間／11月23日(木・祝)～26日(日)
- 時 間／10:00～17:00
- 場 所／ヤンマーミュージアム研修室

「まちなかオール・ブリュット」

- 期 間／11月23日(木・祝)～26日(日)
- 北国街道沿いに作品を展示します。

(昨年は、曳山博物館周辺・北国街道沿い等に数か所展示しています。)



昨年行われた「湖北のオールブリュット展2016」の様子



オール・ブリュットとは

オール・ブリュットとは、既存の美術や文化潮流とは無縁の文脈によって制作された芸術作品の意味で、英語ではアウトサイダー・アートと称されている。加工されていない生(き)の美術、伝統や流行、教育などに左右されず自身の内側から湧きあがる衝動のままに表現した美術である。フランスの画家ジャン・デュビュッフェ(Jean Dubuffet 1901-1985)によって考案されたことばである。

やまぶき 木之本での森づくりイベントに参加して

10月14日(土)に、『長浜市森づくりフェスタ2017 山を活かす!山を守る 山に暮らす交流会のイベント』に参加しました。このイベントに出店させていただいたのは、シフォン、コーヒー、ジュース、フランクフルト・・・そうですね。森、山はあまり関係ないかもしれませんね。実は、普段仕事の関係で紹介していただいたイベントなのです。やまぶきでは、以前ペレットストーブという木製のチップを燃料に使うストーブの燃料の袋詰め作業をさせていただいていました。その関係で、ぜひ地元の開催でもあるということから、参加させていただいたというのが真相です。



イベントでは、木を題材にしたものを中心に企画され、木製のジャングルジムなども組んでおられました。さらに、コースターや切り株の椅子がプレゼントされるサプライズもありました。

滋賀県主催のイベントということから、滋賀を代表するFM E-RADIOのスタッフも取材に来られ、大変楽しいイベントでした。今後も機会があれば、利用者の皆さんとともに参加していただけたらと思います。

ワークスさかた

長浜地方卸売市場感謝祭

8月26日(土)に卸売り市場での「長浜地方卸売市場感謝祭」に参加してきました。

今回は、ワークスさぼてんと共同で出店し、あげパン・ポップコーン・せんべい・クッキーを販売しました。天候にも恵まれ、出店数も28店舗を数え、たくさんの来場者であふれ、とてもにぎわいのあるお祭りでした。

湖北会の利用者さんやご家族も多数ご来店してください、楽しいイベントとなりました。



湖北まこも

夏まつり!

8/12
(土)



湖北まこも恒例の夏祭り。当日は、猛暑の中ではありましたが、皆さん一緒になって楽しい夏のひと時を過ごすことができました。

今年は、新たにスマートボールも登場し、ゲームコーナーも大賑わいでした。模擬店では、たい焼き、カレー、かき氷などなどがあり、皆さん大満足。

おかげさまで地域の皆さんとの交流も大いに深まり、ご来場に感謝いたします。



ぶらり外出

8月17日実施の湖北まこも・ほっぷる・あそしあ3つの事業所合同『ぶらり外出』は、今回、初めての地域への外出と言うことで、暑い夏を涼しく過ごしていただけたらと、水陸両用バスツアーを合同企画しました。

水陸両用バスの窓にはガラスがないため、開放感にあふれ、風が心地よく頬にあたり、利用者の方も気持ちよさそうに乗車されていました。また、バスが琵琶湖へ入水する時は、「3、2、1、ゴー」とみんなでかけ声を出すなど、一致団結して楽しむことができました。帰り際には、「また行こうね」「楽しかったね」と存分に満喫された様子。今後も湖北まこも・ほっぷる・あそしあ、3事業所のぶらり外出には、さらに趣向を凝らして、一緒にいろいろな所へ出かけ、お互いに楽しく交流を深めていけることを願っています。



「ぶらり外出」とは…

湖北まこも・あそしあ・ほっぷるの利用者対象に、3つの事業所合同で地域や他施設の活動に参加し、活動の幅や交流を広げようと平成27年度から始めました。

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人湖北会后援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。

- | | | | |
|---------|----|--------|-----------------|
| 1.寄 付 金 | | | 郵便振替口座 |
| 2.個人会員 | 一〇 | 1,000円 | 00950-8-232378 |
| 3.団体会員 | 一〇 | 5,000円 | 名義 社会福祉法人湖北会后援会 |

○後援会入会と会費納入(平成29年4月1日～平成29年9月30日) 【171名】 御厚志総額 262,000円

☆ご支援、まことにありがとうございました。☆

新顔登場 『新人職員紹介』

たにぐち とおる
谷口 徹

- 所 属
ワークスさぼてん
- 趣 味
読書
- 一 言



8月1日より正規職員として採用していただきました。まだまだ分からないことばかりですが、一人ひとりまた一つひとつを大切にしながら支援していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

しまだ てるみ
島田 照美

- 所 属
ふくらの森
- 趣 味
ドライブ
水泳(プール)
- 一 言



8月1日から生活支援員として、お仕事させていただいています。常に笑顔を絶やさず、丁寧に接する心掛けを大切にしながら、支援をしていきたいと思っています。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

シリーズ おすすめスポット vol.11

道の駅「星のふる里 ふじはし」

国道303号線を北上し、木之本町杉野・金居原を経て県境を超え、揖斐川沿いに車を走らせると、目に留まる岐阜県揖斐川町にある道の駅です。ここは、日本有数の天体観測スポットとして知られています。昼間でも、街の喧騒を離れて緑豊かな大自然に抱かれ、きっとあなたの心を癒してくれますよ。ぜひ、みなさん「星のふる里」めざして、ドライブに出かけてみませんか。



写真はホームページより

編集後記

「秋分の日とハロウィン」

今年の秋分の日、9月23日でしたが、秋分の日前後あたりを一般的に「秋のお彼岸」と呼び、ご先祖様の供養を行う期間といわれています。秋分の日を定めた法律にも、「祖先を敬い亡くなられた人々を偲び感謝する」とあるようです。この日は、お墓参りに行くだけでなく、ご先祖様にまつわる話を親や祖父母から聞いておくことなども、ご先祖様を偲ぶことへと繋がるのではないのでしょうか。

一方、この後の時期になるとオレンジ色ににぎやかになってくるのが、「ハロウィン」。おばけかぼちゃの提灯が定番ですね。こちらもまた、「日本のお盆」のようなものと言われており、死者の霊が親族を訪れるとされる風習なのだそう。形は違えど、亡くなった人に思いを馳せる時間を持つということに意味があるのでは。忙しい日常から少し離れてみると、あらためて生かされていることに気付かされ、心から感謝したいと思います。

編集委員：服部

